

< 農地・水・環境保全向上対策と連携して効果的な取組を実施している事例 >

農地・水・環境保全向上活動と連携し、活性化を目指す

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	ふくしまし せきほく 福島県福島市 関北			
協定面積 14.0 ha	田(100%) 水稲等	畑	草地	採草放牧地
交付金額 151万円	個人配分			50%
	共同取組活動 (50%)	役員報酬	13%	
		集落マスタープランの実現に向けた活動経費	10%	
		水路・農道等の維持管理等集落の共同取組活動経費	26%	
	その他	1%		
協定参加者	農業者 28人、非農業者 3人			

2. 取組に至る経緯

当集落は、農地・水・環境保全向上対策事業への取組をきっかけに本制度に取り組むこととなり、2つの事業を活用して、水路・農道等の保全、耕作放棄地の解消や発生防止とともに、解消した遊休農地への景観作物の導入などにより集落内の環境保全を図っていくこととした。

3. 取組の内容

農地・水・環境保全向上対策事業では、NPO法人「関北農地・水・環境保全会」を立ち上げ、地区住民と水生生物の観察を行うなど様々な活動を行っている。

本制度の活動では、高齢化等により遊休農地となった水田や協定外の遊休桑園を農地として復旧するとともに、コスモスを播種するなどして、集落環境の整備などの活動を行っている。

また、これまで急傾斜な法面や立木や草が生い茂っていた水路など、管理することができなかった場所についても、共同作業で草木を除去し整備したことにより管理作業が容易となった。今後は、更なる遊休農地の解消や高付加価値型農業（特別栽培米）の実践により、農業収入の安定を目指して活動することとしている。



農道の簡易補修（砂利敷き）



水路の管理（草木の除去）

[集落の将来像]

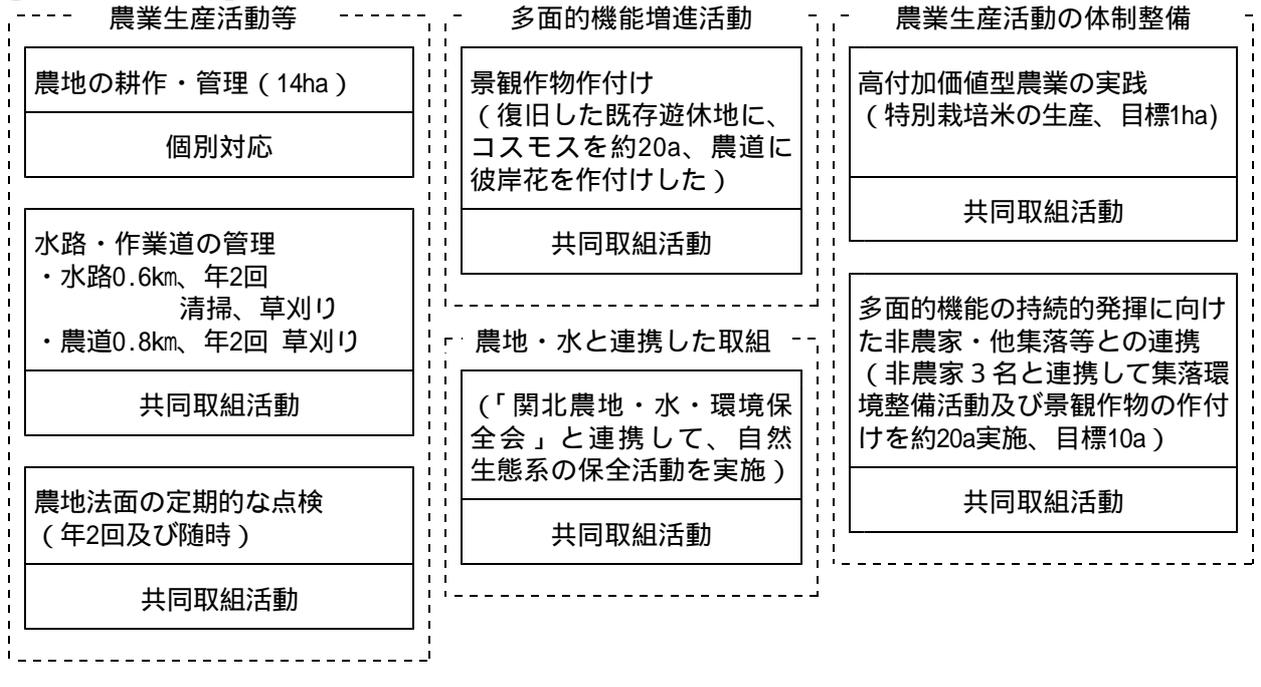
遊休農地の解消や防止のための取組がなされ、景観作物の作付けなどにより環境が改善。
高付加価値型農業にも取り組み、農業収入が安定。



[将来像を実現するための活動目標]

遊休農地の草刈りや緑肥作物の作付けなどの促進
高付加価値型農業の実践による特別栽培米の生産向上

[活 動 内 容]



4 . 取組による変化と今後の課題等

これまで管理が行き届かなかった水路の急傾斜法面なども本事業を活用して生い茂った立木を伐採し、今後の管理が容易となった。

また、遊休水田や遊休桑園を重機を用いて整備し、コスモスを作付けしたことで景観形成に役立つだけでなく、いつでも耕地として利用可能な状態にすることができた。

この活動が地域住民の刺激となり、やる気にも繋がっている。

今後は、更なる遊休農地解消に繋がるよう、様々な取組を推し進めていきたい。

[平成20年度までの主な成果]

非農家と連携して集落環境の整備、遊休農地への景観作物の作付けにより多面的機能の持続的発揮を目指す (景観作物の作付け当初 0 a、目標10a、H20実績20a)

水路法面に成長した立木の伐採や草刈りにより、今後の作業性が向上